

金属屋根 (塩ビ銅板) の標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エビテックプライマー A液	10ℓ	1※	—	6.0～8.0㎡/ℓ (0.15～0.22kg/㎡)	1	—	4時間以上 3日以内	—	ローラー／ エアレス
	エビテックプライマー B液	10ℓ	1※							
上塗	フッ素/シリコンREVO 500-IR A液	15kg	150	ローラーの場合： 0～5% (清水) エアレスの場合： 5～10% (清水)	0.30～0.40kg/㎡	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー／ エアレス
	REVO500-IR B液	0.1kg	1							

※容積比で調合してください

金属屋根 (フッ素銅板) の標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	フッ素銅板用 パワープライマーJY A液	14kg	14	ローラーの場合： 0.8～2.3ℓ エアレスの場合： 2.3～4.5ℓ (FPP専用シンナー)	黒・グレー・赤さびの場合： ローラー：0.11～0.15kg/㎡ エアレス：0.15～0.17kg/㎡ 白の場合： ローラー：0.15～0.17kg/㎡ エアレス：0.17～0.19kg/㎡	1	—	4時間以上 10日以内	—	ローラー／ エアレス
	フッ素銅板用 パワープライマーJY B液	1kg	1							
上塗	フッ素/シリコンREVO 500-IR A液	15kg	150	ローラーの場合： 0～5% (清水) エアレスの場合： 5～10% (清水)	0.30～0.40kg/㎡	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー／ エアレス
	REVO500-IR B液	0.1kg	1							

アスファルトシングルの標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合：—	0.20～0.25kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ローラー／ エアレス
				白・グレーの場合： 1.5～3.0L (清水)						
上塗	フッ素/シリコンREVO 500-IR A液	15kg	150	ローラーの場合： 0～5% (清水) エアレスの場合： 5～10% (清水)	0.30～0.40kg/㎡	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー／ エアレス
	REVO500-IR B液	0.1kg	1							

波形スレート (屋根)※の標準施工仕様 ※高圧洗浄有り

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
防カビ 処理	バリアー	4L	—	16L (清水)	6.0㎡/L (0.18kg/㎡) ※希釈時	1	—	0.5時間以上	—	ローラー／ エアレス
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ローラー／ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	フッ素/シリコンREVO 500-IR A液	15kg	150	ローラーの場合： 0～5% (清水) エアレスの場合： 5～10% (清水)	0.30～0.40kg/㎡	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー／ エアレス
	REVO500-IR B液	0.1kg	1							



製造・販売元
株式会社 アステックペイント
本社／〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-14-1-9F

astecpaints.jp

製品については下記までお問合せください。



REVO 500-IR SERIES

屋根塗料に革命を



水性形二液屋根用遮熱フッ素系上塗材
フッ素REVO500-IR



水性形二液屋根用遮熱シリコン系上塗材
シリコンREVO500-IR



住まいを永く、美しく
守り続けるために実現した

REVO500-IRシリーズ 2つの性能

高耐候性

自然環境における紫外線・雨・熱などの劣化要因に対して高い耐候性を発揮し、住まいの長寿命化に貢献します。

遮熱性

太陽からの近赤外線を反射することで、夏場の室内温度上昇を抑えるなど生活環境の快適化に貢献します。

※建物構造、断熱構造、開口部（ガラス窓）の大きさ・数によって温度変化の程度に差が出ます。

革命的な性能を実現するために
こだわり抜かれた独自技術

フッ素REVO500-IR

紫外線に強い完全交互結合型フッ素樹脂

紫外線に破壊されにくい完全交互結合型フッ素樹脂の配合により、塗膜の劣化を抑制します。

ラジカル制御型白色顔料を採用

劣化要因「ラジカル」の発生を抑制する「ラジカル制御型白色顔料」を採用。建物を長期間保護します。

近赤外線を反射する特殊遮熱無機顔料を配合

日射反射率が高い「特殊遮熱無機顔料」を採用。近赤外線を効果的に反射する塗膜を形成します。

期待耐用年数
16~20年



シリコンREVO500-IR

劣化に強いシリコン成分を豊富に配合

一般的な一液水性シリコン塗料と比較してシリコン成分を豊富に配合。シロキサン結合により高い耐候性を発揮します。

ラジカル制御型白色顔料を採用

劣化要因「ラジカル」の発生を抑制する「ラジカル制御型白色顔料」を採用。建物を長期間保護します。

近赤外線を反射する特殊遮熱無機顔料を配合

日射反射率が高い「特殊遮熱無機顔料」を採用。近赤外線を効果的に反射する塗膜を形成します。

期待耐用年数
13~16年



紫外線などの劣化要因に対して 耐候性を発揮し、建物を長期間保護

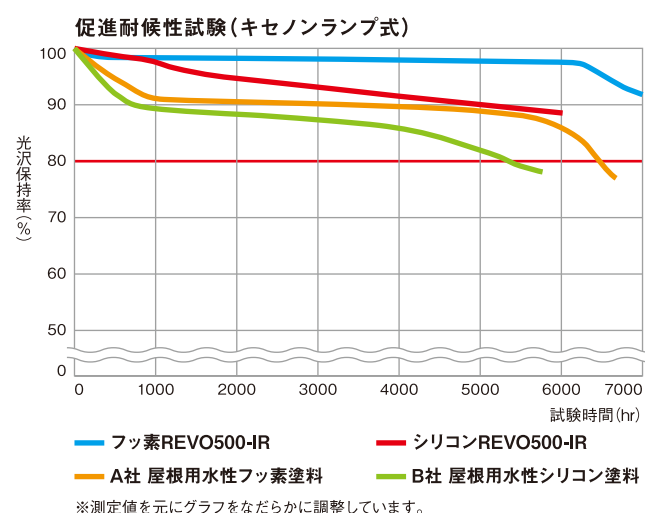
促進耐候性試験(キセノンランプ式)において、フッ素REVO500-IRは16~20年*、シリコンREVO500-IRは13~16年*経過後も光沢保持率80%以上を保持。高い耐候性を発揮し、建物を長期間保護します。

※期待耐用年数
※あくまで試験環境下における推測値であり、耐候性を保証するものではありません。実際の自然ばく露環境下では、下地の状態、施工方法、気象条件により耐候性は異なる場合があります。

■期待耐用年数

フッ素REVO500(-IR)
16~20年

シリコンREVO500(-IR)
13~16年

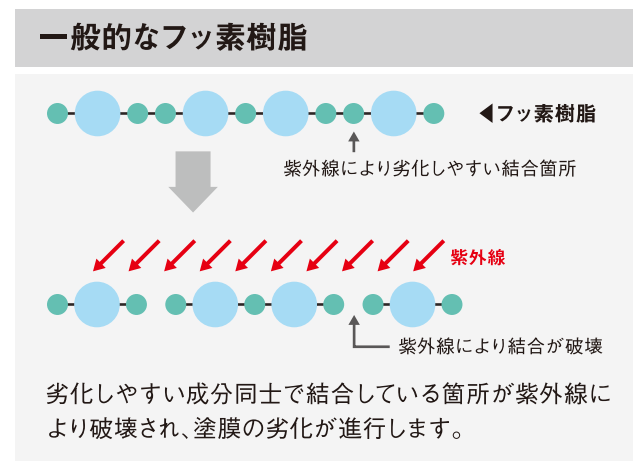
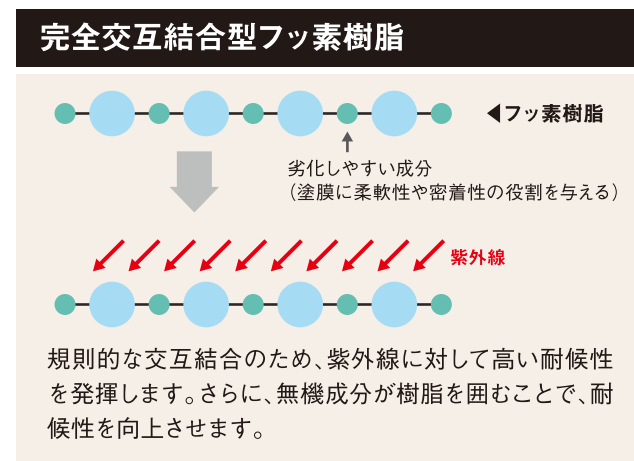


REVOシリーズが高耐候性を有する理由

フッ素REVO500-IR

結合力の強い「完全交互結合型フッ素樹脂」を配合

フッ素樹脂は劣化しやすい成分同士で結合している箇所が紫外線に破壊されることで塗膜の劣化が進行します。フッ素REVO500-IRは、劣化しやすい結合箇所が少ない「完全交互結合型フッ素樹脂」の採用により、紫外線に対して優れた耐候性を発揮します。

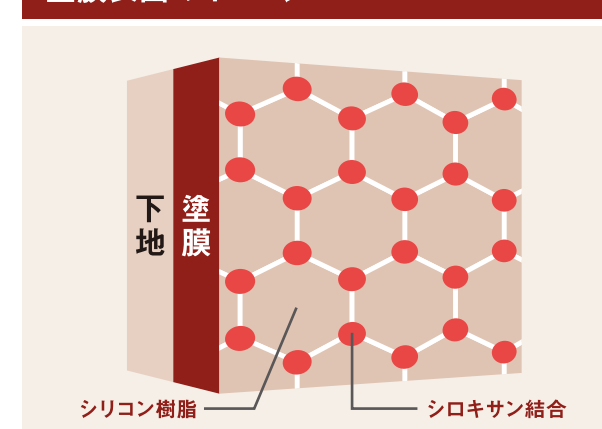


シリコンREVO500-IR

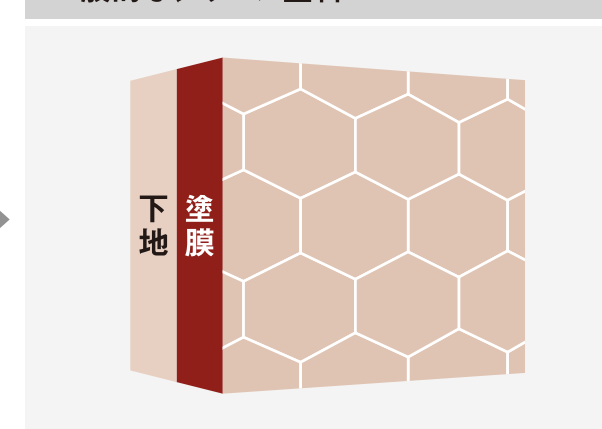
劣化に強いシリコン成分を豊富に配合

一般的なアクリルシリコン塗料と比較してシリコン成分(シロキサン結合)を豊富に配合*。成分の含有量が多いほど紫外線に破壊されにくくなるため、高い耐候性を発揮することが期待されます。 ※自社調べ

塗膜表面のイメージ



一般的なシリコン塗料



REVO500-IRシリーズ共通

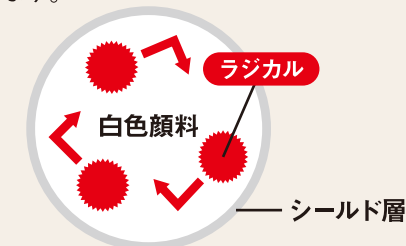
劣化要因“ラジカル”を抑える2つの技術で高耐候性を発揮

塗料中に含まれる顔料の主成分「酸化チタン」は、紫外線の影響を受けると「ラジカル」と呼ばれる劣化因子を発生させ、樹脂の結合を破壊してしまいます。REVO500-IRシリーズは、ラジカルの発生を抑える2つの技術でラジカルによる劣化を抑制することで、高い耐候性を実現しました。

技術 1

ラジカル制御型白色顔料を配合

ラジカルの発生を抑制する「ラジカル制御型白色顔料」を採用。ラジカルが発生しにくく、また発生した場合にもシールド層が放出を防ぐため、ラジカルによる樹脂の破壊を抑制します。



技術 2

ラジカルを捕捉する「HALS※」を配合

塗膜中に発生したラジカルを捕捉する「HALS(光安定剤)」を配合。ラジカルによる塗膜の劣化を防ぎ、長期間にわたって塗膜を保護します。



※HALS: Hindered Amine Light Stabilizer (光安定剤)

高い日射反射率で室内の温度上昇を抑え、生活環境を快適に

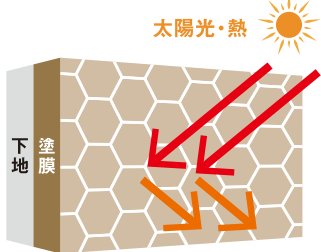
太陽光の波長のうち温度上昇の原因となるのは近赤外線(波長:780~2500nm)。
REVO500-IRは一般的な塗料の着色に使用されているカーボンブラック等よりも日射反射率が高く、熱を吸収しにくい「特殊遮熱無機顔良」を使用。^{※1} 近赤外線を効果的に反射する塗膜を形成し、室内の温度上昇を抑制。^{※2} 生活環境の快適化に貢献します。

※1 アステック標準色の色番号8113(トゥルーホワイト)を除く全色で使用。
※2 建物構造、断熱構造、開口部(ガラス窓)の大きさ・数によって温度変化の程度に差が出ます。

遮熱性のメカニズム

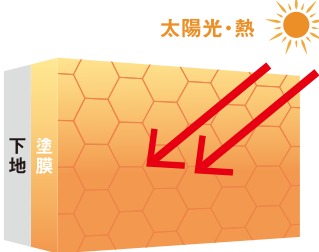
遮熱効果の高い「特殊遮熱無機顔良」を採用

■REVO500-IR



近赤外線を反射し塗膜の表面温度の上昇を抑制。

■一般的な塗料



近赤外線を反射できず塗膜の表面温度が上昇。

黒色顔料で調色した塗膜の
平均日射反射率(%)

	780~2500nm (近赤外線領域)
特殊遮熱無機顔良	46
Fe系遮熱顔料	35
Mn系遮熱顔料	42
カーボンブラック	6

「変退色抑制効果」と「高い遮熱効果」

一般的な遮熱塗料に使用される有機顔料は紫外線に破壊されることで変退色が発生します。特殊遮熱無機顔良は、紫外線による影響を受けにくく、変退色を抑えます。また、他の黒色顔料と比較して日射反射率が高く、優れた遮熱効果を発揮できます。

特殊遮熱無機顔良

紫外線により破壊されにくく、変退色しにくい。

一般的な顔料 黒色[有機顔料の3色混合]

紫外線により破壊され、変色が起こりやすい。

フッ素REVO500-IR

水性形二液屋根用遮熱フッ素系上塗材

●製品データ

荷姿	15.1kgセット(A液:15kg、B液:0.1kg)/3.02kgセット(A液:3kg、B液:0.2kg)
塗布量	0.30~0.40kg/m ²
希釈	ローラーの場合:0~5%(清水)、エアレスの場合:5~10%(清水)
艶	艶有
色	アステック標準色69色
可使時間	4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)

下地調整

○劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。○漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。○塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。

施工上の注意

○B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。○B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。○二液型塗料ですので、使用前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。○二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。○雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。○5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。○使用する前に塗料を十分に攪拌してください。○ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。○エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。○上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。○塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。○トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

セメント瓦・カラーベストの標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーSS強化シーラー A液	7.5kg	1	—	0.10~0.30kg/m ²	1~2	8時間以上 5日以内	16時間以上 5日以内	—	ローラー／ エアレス
	エポパワーSS強化シーラー B液	7.5kg	1							
上塗	フッ素/シリコンREVO 500-IR A液	15kg	150	ローラーの場合: 0~5%(清水) エアレスの場合: 5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー／ エアレス
	REVO500-IR B液	0.1kg	1							

モニエル瓦の標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポプレミアムシーラープライマーJY A液	12.5kg	5	—	0.13~0.25kg/m ²	1~2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ローラー／ エアレス
	エポプレミアムシーラープライマーJY B液	2.5kg	1							
上塗	フッ素REVO 500-IR A液	15kg	150	ローラーの場合: 0~5%(清水) エアレスの場合: 5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー／ エアレス
	REVO500-IR B液	0.1kg	1							

下塗	モニエルパワープライマー A液	6kg	2	5ℓ(清水)	0.15~0.30kg/m ²	1~2	8時間以上 7日以内	16時間以上 7日以内	—	ローラー／ エアレス
	モニエルパワープライマー B液	3kg	1							
上塗	シリコンREVO 500-IR A液	15kg	150	ローラーの場合: 0~5%(清水) エアレスの場合: 5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー／ エアレス
	REVO500-IR B液	0.1kg	1							

金属屋根(カラー鋼板^{※1}・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)の標準施工仕様 ※1:フッ素鋼板は除く

工程		製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
								工程内	工程間	最終養生	
下塗	①	エポパワーメタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4L (アステックシンナー-DX)	0.14~0.17kg/m ²	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー／ エアレス
		エポパワーメタルJY B液	1.6kg	1							
	②	サーモテックメタルプライマー ^{※2}	16kg	—	0.8~1.6L (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15kg/m ²	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー／ エアレス
上塗		フッ素/シリコンREVO 500-IR A液	15kg	150	ローラーの場合: 0~5%(清水) エアレスの場合: 5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー／ エアレス
		REVO500-IR B液	0.1kg	1							

※2:施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。